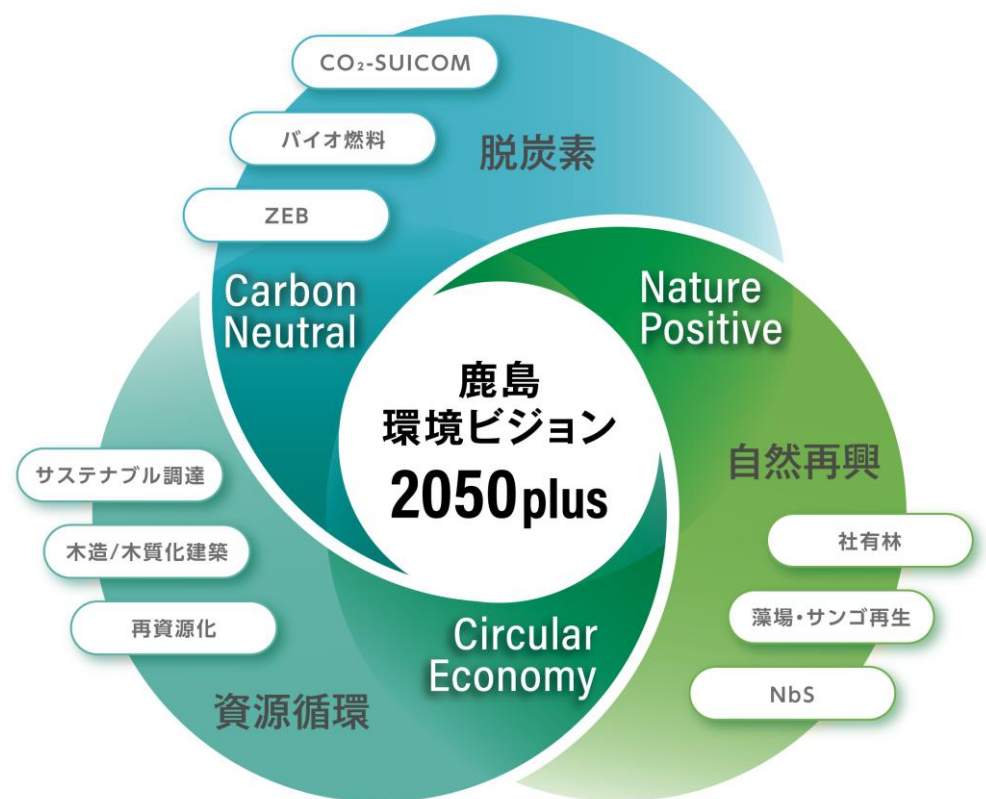


鹿島は持続可能な社会の実現を目指します

鹿島は、持続可能な社会の実現に向けて、「脱炭素」「資源循環」「自然再興」が相互に関連しあっていることを認識したうえで、グループの目標や行動計画を再構築し、今年度新たに「鹿島環境ビジョン2050plus」を策定しました。

「脱炭素」「資源循環」「自然再興」の各領域の影響を考慮して、相乗効果が見込めるものは特に推進し、トレードオフには配慮しながら調和のとれた取組みを進めていきます。

顧客、社会と協力して取り組んでいく意思と、2050年の先を見据えた永続性を「plus」に込めて、鹿島は新たな環境ビジョンのもと、環境保全と経済活動が両立する社会の実現に向け、取組みを推進していきます。



CO₂を「吸い込む」環境配慮型コンクリートドーム

鹿島は、NEDOのGI基金※事業の一環として、環境配慮型コンクリートドーム「CUCO®-SUICOMドーム」の試験施工を完了しました。

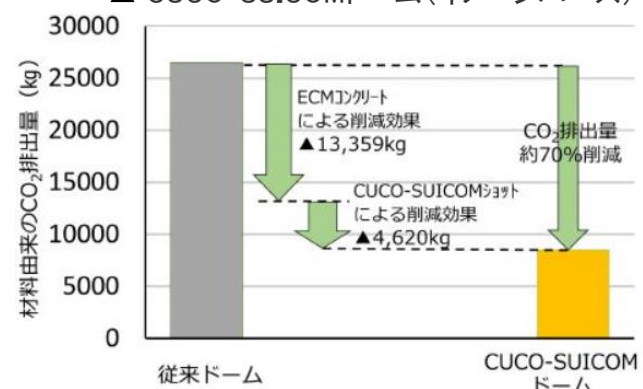
施工にあたっては、鹿島保有の「KTドーム®」技術をベースに、鹿島らが開発した低炭素型コンクリート「ECMコンクリート®」と、CO₂を吸収・固定して固まるカーボンネガティブコンクリートCO₂-SUICOMを吹き付け材料として改良した「CUCO-SUICOMショット」を採用しました。本工法による環境配慮型コンクリートドームの施工は世界初です。これにより、従来のコンクリートと比べて、同等の施工性や強度を確保しつつ、材料由来のCO₂排出量を約70%削減できることを確認しました。

鹿島は、この実績を踏まえて、「People's Living Lab(未来社会の実験場)」をコンセプトとする大阪・関西万博の会場に「CUCO-SUICOMドーム」を建設、出展いたします。

※ NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) グリーンイノベーション基金



▲ CUCO-SUICOMドーム(イメージパース)



▲ 環境配慮型コンクリートによるCO₂排出量削減効果(試験施工時)

資源循環で住み続けられるまちづくり

鹿島は、株式会社都市環境エンジニアリング(鹿島グループ会社、以下、TKE)、東武鉄道株式会社と東武タウンソラマチ株式会社と共に、商業施設「東京ソラマチ」の飲食店舗などから排出された食用油を利用した、地産地消型資源循環の取組みを推進しています。TKEが廃食用油の回収と「B100※」への再生を行い、鹿島JVの工事現場でB100を発電機の燃料として再利用しています。この事業を通じてB100を約4,000ℓ使用することで、およそ10tのCO₂削減効果が予想されます。

今後、廃棄物の増加や地球温暖化などの環境の負の側面への対応が一層求められます。廃食用油を街の現場で再利用し、地域のさらなる発展と脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※ B100: 100%バイオディーゼル燃料



■お問い合わせ先■

鹿島建設株式会社
TEL 03(5544)1111(代表)
ホームページ <https://www.kajima.co.jp/>